「ナミヤ雑貨店の奇跡」のあらすじ

一か月ほど時間で「ナミヤ雑貨店の奇跡」という小説を読み終わりました。これは、ベストセラー作家、東野圭吾さんが２０１２年で完了したものです。この小説は、あらゆる悩みの相談に乗れる、不思議な雑貨店「ナミヤ雑貨店」を巡り、五つの物語を語りました。

物語の始めとして３人の若い人たちは盗まれた車が壊れたから、一時的に近居の雑貨店に避けることにしました。彼らは避けていることろにある手紙が届きました。その手紙の届き先はある女性のスポーツ選手です。彼女は「ひどい病気になっている彼氏を世話するかオリンピックを準備続けるかことを選択することができないので困っている」と語りました。その３人は手紙を読んだ後、彼女に返事を書きました。そして、不思議なことに、彼女から返事はすぐに来ました。同じことは何も回繰り返してから、若い人たちは信じられない経験をすることになりました。この雑貨店には過去からの手紙を届けることを気かづきました。

そして、２度目の物語の主人公は大学生です。この大学生は芸能人になるつもりですから、中途退屈してアマチュアの歌手として歌を歌ったり歌詞を書いたりしました、自分の努力で有名になるつもりですけど、「天賦がないから有名な歌手になる可能性がない」と言われました。いつも困っているので、「ナミヤ雑貨店」に相談にして、手紙を届いてきました。

おもしろいから、詳細の物語は本を読んで推薦しています。この小説は「ナミヤ雑貨店」に関する五つの物語を通じて、「悩みのことは人々により、それぞれがあります。悩みのことに困られる人は相談に乗る時、その人の悩みを解決できるかできないかにもかかわらず、真剣に聴いてみてそして自分の意見を出すことは一番大切だ」と我々に伝えたいと思います。